

## 挨拶表現に見る日英語比較（上）

後藤いく子（社会言語学）

### 1. はじめに

近年、英語教育において読み・書き中心の教え方からコミュニケーションに重点を置く傾向が強くなってきた。そのためコミュニケーションの一手段としての会話学習にも多くの時間が授業の一環として割かれている。外国人との対話を重視した会話学習の第一歩は挨拶の練習から始まるのが一般的であるが、それは挨拶がコミュニケーションの重要な構成要素であり、適切な挨拶の交換なしにはどの社会においても円満な人間関係を築いたり、維持したりするのが不可能だからである。

挨拶の言葉は従来感嘆詞、又は挨拶語として分類され、語彙の一部として処理されてきた。例えば、英語の“Good morning”には自国の言語の中にある類似の表現を見つけ「お早う」をその訳に充てるという方法である。この方法が取られ得る背景には、挨拶とは人間の普遍的行動であるから、英語の社会にも日本語の社会にも等価のものがあるはずであり、表し方だけがちがうという前提があったからであろう。

しかし、最近、政治経済の分野のみならず日本に住む外国人人口が増加し、又、仕事や留学のため外国に住む日本人も増えてきて、外国人との接触の機会も多くなってくると、事態はそれほど単純ではないということに気がつき始めるのである。外国人とのコミュニケーションの内容も、より日常的なレベルになってくると、二つの言語に置ける挨拶表現が必ずしも等価のものではないことがわかってくる。つまり、英語の挨拶言葉に相当する日本語が見つからず、何とか“和訳”し得たにしても座りの悪い日本語になったり（例えば“Have a good day”=良い一日を）、又、日本語の文脈では欠かせない表現なのに英訳するのは不可能に近いという場合（例えば「よろしくお願いします」）にしばしば直面するのである。様々な社会現象がその社会の文化型に深く根ざしている様に、言語もまた文化の投影であるとするならば、個々の表現の中にそれぞれの社会の根本原則が一貫して流れているはずである。従って、挨拶言葉も当然それが使われている社会、あるいは文化との関連で理解される必要がある。もはや語彙的レベルの知識では、コミュニケーションを通しての異文化間相互理解は難しく、誤解や摩擦を招くことにもなりかねないのである。挨拶そのものは人類に普遍的であっても、その具体的内容や方法には民族的な、あるいは社会的な差があるからである。

本稿<sup>1)</sup>はこの様な観点に立ち日英語の挨拶表現を比較し、その表現内容の違いから日本及び英語圏の社会関係や人間関係の基本を探り出そうとするものである。特に日本人が無意識に使っている表現で英語に翻訳しにくいものの場合を取り上げ、同一の場面で英語では

普通どの様に表現されるのかをまず明らかにし、日英語それぞれの表現の特徴からその背後にある日本と英語圏の人々の人間や社会に対する見方・考え方をとらえてみたいと思う。一見単純に見える現象はその実は往々にして複雑なことが多い様に、私達が日頃無意識に使っている挨拶表現にも様々な要素が複雑に組み込まれているに違いない。

## 2. 挨拶行動の定義

私達が普段何気なく使っている「挨拶」<sup>2)</sup>という言葉は日々の生活の中で無意識に習得されるものであり、「手」「犬」「水」等の言葉同様ほとんどの日本人にとって辞書を引いて意味を確かめる必要のない語であるが、その辞書の定義を求めてみると次のように示されている。

『大辞林』には挨拶とは、「人と人が出会った時や別れる時に交わす儀礼的な動作や言葉。又、その言葉を述べること。相手に敬意・親愛の意を示す行為で、対人関係を円満にし、社会生活を円滑にする」と書かれてあり、『国語学研究事典』によると、「人間が他人との間に親和的な社会関係を設定するために、又は、すでに設定されている親和的な社会関係に基づいて、それを維持強化するために行う社交・儀礼的な行動様式の一つ」と定義されている。他のいくつかの辞書を引いても大体同じようなことが書かれてあり、要約すると、挨拶とは「対人関係を円満にし社会生活を円滑にする」ためのものであり「それを維持強化するために行う社交・儀礼的な行動様式の一つ」であるということができる。

人間の言語がどのような働きをもつものかという見地から言語六要素<sup>3)</sup>・六機能説を唱えたロマン・ヤーコブソンは、挨拶言葉がその中の「接触」の要素に属し、その「接触」の要素が特徴的に発揮されるのは“phatic”（交話的・言話的・談話的等と訳されている）とよばれる機能であると述べている。このphaticとはギリシャ語の phemi（言う、しゃべる）から派生した形容詞 phatos（しゃべられた、語られた）の英語形であり、英国の人類学者であるマリノフスキーにより phatic communion（「言葉による共感」あるいは「話すことによる一体化」）という術語で初めて取り上げられたものである。彼は「未開人の生活を詳しく調べた結果、彼らにとって出会った相手が口をきかないということが、どんなに彼らを不安にし恐怖を抱かせるものか、そして言葉を交わす（挨拶する）という行為それ自体が、何かを伝達する目的もさることながら、人と人を心理的に安定した共通の場に引き入れる役割を持っているものだ、ということを見出し（鈴木、39）し、それを phatic communion と命名したのである。従って、言語における“phatic”機能とは、具体的に「何かを伝達する目的」をもって交わされる言語行動にあるというよりは「人と人を心理的に安定した共通の場に引き入れる役割」をするものであると言えよう。実質的内容は乏しいけれども、挨拶言葉はお互いの同一集団帰属性を高め、同じ価値観・文化を共有していることを確認し安心するためのいわば「心理的マッサージの役」（小林、1981a：88）を果たすものと言える。このことは取りも直さず、挨拶言葉の中にそれが使われる社会の成員に共通する価値観及び文化の基本が含まれていることを物語っている。

この様な視点から、本稿では挨拶言葉<sup>4)</sup>の中でも非常に頻繁に用いられる日本語の「よろしくお願いします」「すみません」「失礼します」「頑張ってね」「どうも」の5つの慣用的表現（「決まり文句」）とその“英語版”を取り扱うこととする。これらの日本語の表現はそれぞれが複数の場面で使われ得るために、非常に使用範囲が広いものであり、それだけ深く日本の文化や価値観を反映しているのではないかと思われるからである。そして、こ

のような日本語の鏡を通して見れば、英語圏社会の文化や価値観もより鮮やかに浮かび上がるのではないかと考えるからである。

### 3. 調査方法

前章で述べた日本語の5つの慣用的表現に“対応する”英語の表現を見つけ出すためにそれぞれの表現が使われると予想される場面を記述した質問表を被調査者に渡し、その時何と言うかを書いてもらい後日回収した。答は一つと限定せず、自由にいくつでも書いて良いということもつけ加えてある。それぞれの表現が可能と思われる場面として「すみません」は6通り、「よろしくお願いします」「頑張ってね」「失礼します」はそれぞれ4通り、「どうも」は3通り設定し、実際のアンケートには同じ表現が片寄らないように全部順不同に並べ換えておいた。全く同じ内容のアンケートを日本語版と英語版の2種類用意し、日本人被調査者15名には日本語版で、英語を母語とする被調査者（アメリカ人、イギリス人、オーストラリア人、カナダ人）19名には英語版でどちらも30代と40代の成人男女に回答をお願いした。日本人からも回答を求めたのは、筆者の予想する日本語の表現を基にするのではなく現在日本人の間で使われている実態に則して日英語の比較を試みたいと思ったためである。回答に関して問い合わせをする必要性が生じた時のために、アンケートの最後に名前を記してもらった。

### 4. 調査結果

前述した5つの“日本的”挨拶表現に相当する英語の表現に関して、アンケートの結果を順を追って述べていくこととする。実際のアンケートでは挨拶が交わされる場面を順不同に並べ換えておいたが、本章では表現ごとにまとめ、それぞれの場面とそれに対する日英語を示し表現内容の違いを明示したい。

非常に様々な回答が寄せられたが、本章では全ての回答をできるだけ見やすくするために簡単な記号を用い、まとめて整理した。例えば、「よろしくお願いします／致します」の様に下線の引いてある語句の間に「／」があるのは、「よろしくお願いします」と「よろしくお願いします致します」の両方ともが回答として使われていることを意味し、（ ）で囲まれた語句は、それが使われている場合と使われていない場合の二通りの回答があったことを意味する。例えば、「（どうも）お疲れさま」という場合は「どうもお疲れさま」と「お疲れさま」のどちらも用いられたということである。各言語名の後の数字は全回答数を表し（例えば「日本語（15）」の様に）、それぞれの表現の後の数字は回答数を、そして表の右側の％はそれぞれの表現が全回答数に占める割合を示している。日本語の中の「～」、及び英語の中の「xx」は任意の名前・場所・時等が入ることを表す。

では「よろしくお願いします」「すみません」「失礼します」「頑張ってね」「どうも」の順に進めることにする。

## I よろしくお願ひします。

## 場面1

今日は新入社員のあなたの初出勤日です。同僚の一人があなたを連れてこれから一緒に仕事をする人達に紹介して回ってきます。一人一人に挨拶をする時、何と言いますか。			Suppose you get a new job at a company and today is the first day of your working career. As your co-worker takes you around to introduce you to people you are going to work with, what would you say to each of them as you greet them?		
日 本 語 (16)	回答数	%	英 語 (23)	回答数	%
1 よろしくお願ひします／致します。	5	31%	1 Hello/Hi. Nice/Good/Pleased to meet you. (Name/Mr. xx)	6	26%
2 初めまして。(～です／～と申します)。よろしくお願ひします。	4	25%	2 Nice/Pleased to meet you. (My name is xx.)	4	17%
3 ～です。いろいろお世話になりますが、どうぞよろしく。	1	6%	3 Hello. (I'm xx. Nice to meet you.)	2	8%
4 ～です／～と申します。(どうぞ)よろしくお願ひします／致します。	1	6%	4 Hello. My name is xx. Nice to meet you.	2	8%
5 本日配属されました～です。右も左もわからない未熟者ですが、よろしくお願ひ致します。	1	6%	5 (Hi,) (It's nice to meet you.) I'm looking forward to working with you.	2	8%
6 この度入社致しました～と申します。よろしくお願ひ致します。	1	6%	6 It's nice to meet you, Mr. xx.	1	4%
7 今度この課に配属されました～です。どうぞよろしくお願ひします。	1	6%	7 It's nice to meet you. I'm eager to work with you.	1	4%
8 今日からお世話になることとなりました～です。体力と明るさだけは誰にも負けないつもりです。どうぞ厳しくご指導の程よろしくお願ひします。	1	6%	8 Hi/Hello/Hallo.	3	13%
9 初めまして、～です。これから頑張りますので、どうぞご指導をお願ひ致します。	1	6%	9 Hello, I'm xx. How do you do?	1	4%
			10 Hi, I'm looking forward to working with you.	1	4%

「よろしくお願ひします」の文字通りの意味は「良き取り計らいをお願ひしたい」というものであるが、場面1の初対面の挨拶は日本語では全16回答中の15回答の中に「よろしくお願ひします」が使われている。ただ一つ「どうぞご指導をお願ひ致します」(9番)というのがあったが、これは「よろしく」より更に改まった変種であると考ええると(後述する)、初対面の挨拶は日本語では100%の人が「よろしくお願ひします」という「決まり文句」を使っているということになる。この他「これから頑張りますので」や「今日からお世話になることとなりました」「未熟者ですが」等、「頑張る」意欲及び「お世話になる」という相手から面倒をみてもらう必要のある「未熟者」の自分であることを認める表現も使われている。

一方、英語においても初対面時の「決まり文句」らしい "Nice to meet you"、"Good to meet you"、"Pleased to meet you" のいずれかが1番から7番の78%の回答に用いられているが、この他ただ単に "Hello" だけの回答(8番、13%)や、"I'm looking forward to working with you" (御一緒に仕事ができるのを楽しみにしています)や "I'm eager to work with you" (御一緒に仕事ができることを願っています)という「お世話になる」というより、一緒に仕事をする意欲を示す表現も使われている。日本の英語の授業で必ず

出てくる "How do you do?" は1例しか見られない。

## 場面 2

誰かにやってもらわなければならない事ができました。結構手間暇がかかる事なのですが、人に頼み事をして帰る時、その人に何と言いますか。			Suppose you have to ask someone a favor that takes some time and trouble. After explaining your request, what would you say to show him that you are fully aware of asking a favor of him and that you really appreciate his cooperation?		
日 本 語 (15)	回答数	%	英 語 (21)	回答数	%
1 よろしくお願ひします。	3	20%	1 (Thank you very much/Thanks a lot.) I'd really appreciate it/this.	4	19%
2 申し訳ありませんが／悪いわね／ごめんね。よろしくお願ひします。	3	20%	2 Thank you very much for helping me.	1	4%
3 本当に申し訳ありませんが／ごさいませんが、どうぞよろしくお願ひ致します。	1	6%	3 Thanks very much for your help.	1	4%
4 大変なことをお願ひしてしまって申し訳ありませんがよろしくお願ひ致します。	1	6%	4 I really appreciate your help.	1	4%
5 御面倒ですが、よろしくお願ひします。	1	6%	5 (Name,) I truly appreciate your doing me this favor. Thank you.	1	4%
6 お願ひします。	2	13%	6 Thanks a lot. I know this is a lot of trouble.	1	4%
7 手間な仕事と思うけど、お願ひします。	1	6%	7 Thank you so much for taking this on. Now I owe you a favour in return.	1	4%
8 悪いけど頼みます。	1	6%	8 I would really appreciate your helping me. I know it's a lot to ask.	1	4%
9 申し訳ありませんが。	1	6%	9 I know this is asking a lot but I'd really appreciate it.	1	4%
10 すみませんネ。	1	6%	10 I know I am asking a great deal from you, and I appreciate your help very much. If there is anything I can do to repay this favour, please call me any time.	1	4%
			11 I'm sorry to bother you. I really appreciate your help.	1	4%
			12 I'm awfully sorry to bother you, but I'd really appreciate it, if ...	1	4%
			13 Sorry to be troubling you so, but I'd really appreciate it if you could do this.	1	4%
			14 I'm sorry to put you out. Thanks a lot.	1	4%
			15 If you could do that, I'd really appreciate it. Thanks a lot.	1	4%
			16 I know this is a lot to ask...	1	4%
			17 I hope this isn't too much to ask of you.	1	4%
			18 You know I wouldn't ask you to do this if I didn't really need it this badly.	1	4%

頼み事をする時には日本語では「よろしくお願いします」(1～5番、60%)、「お願いします」(6、7番、13%)、「頼みます」(8番、6%)等の依頼表現が最も多く全体の79%を占めている。又、相手に対する恐縮や詫びの気持ちを表す表現である「申し訳ありませんが」(9番)、「すみません」(10番)、「ごめんね」(3番)、「悪いわね」(3番)等の表現も使われている。

この場面2において、英語では依頼の表現ではなく“Thank you very much”、“Thanks a lot”、“I’d appreciate it”(ありがとうございます)等の様な感謝の言葉が1番から15番にかけて圧倒的多数(85%)使われている。相手に対する恐縮の念を示す“I know this is a lot of trouble”(6番)、“I know it’s a lot to ask”(8番)(大変な事をお願いしているのは、わかっているのですが)とか“I’m awfully sorry to bother you”(12番)、“Sorry to be troubling you so”(ご面倒かけてごめんなさい)の様な表現も見られるが、その後にはほとんどの場合感謝の言葉がつけ加えられている。感謝の言葉が不在なのは16番から18番だけで全体の回答数から見ると14%にすぎない。

### 場面3

新しい企画のための会議に出ています。一緒にやる仕事仲間も結構やる気があります。会議が終わり席を立ち、回りの人に挨拶する時、何と言いますか。			Suppose you are at the meeting on a new project. Everyone is happy and excited about it. The meeting is over. What would you say to your fellow members of the project as you are leaving?		
日 本 語 (15)	回答数	%	英 語 (20)	回答数	%
1 何とかうまく行くように頑張りましょうね。どうぞよろしく。	1	6%	1 (Well), See you <u>later/tomorrow/next time</u> .	5	25%
2 頑張りましょう。	2	13%	2 OK. Bye for now.	1	5%
3 頑張ろうね。	1	6%	3 Well, that sounds good.	1	5%
4 さあ、これから頑張りますか。	1	6%	4 It’s looking good, isn’t it?	1	5%
5 皆さん、新企画成功に向け頑張りましょう。	1	6%	5 That was a good meeting, wasn’t it?	1	5%
6 私も精一杯やりますので、一緒に頑張りましょう。	1	6%	6 Great meeting. Let’s get this thing rolling.	1	5%
7 (長い時間) お疲れさまでした。	5	33%	7 Well, that was something, wasn’t it?	1	5%
8 (どうも) ご苦労さまでした。	2	13%	8 Well, we’re off to a good start.	1	5%
9 どうも。	1	6%	9 The project is really moving along nicely. I’m very excited about it, as is everyone, I think.	1	5%
			10 I can’t wait until we get started.	1	5%
			11 Let’s go for it.	1	5%
			12 Let’s go get ‘em!	1	5%
			13 Anyone, have time to celebrate?	1	5%
			14 Let’s go for a beer after work.	1	5%
			15 Thanks so much.	1	5%
			16 So, what do you think?	1	5%

新しい企画のための会議が終わった後で挨拶をする場面3において、日本語では予想していた「よろしくお願いします」は1番の「どうぞよろしく」の1例だけであり、「頑張りましょう」、「頑張りますか」等(1～5番)の“頑張”を表すものと、「お疲れさまでし

た」(6番)、「ご苦労さまでした」(7番)等のねぎらいの表現がそれぞれ全回答中約半数の46%ずつを占めている。

日本語の回答では、「頑張り」と「ねぎらい」の2通りの表現に集中していたのに対し、英語では重複する表現がほとんどなく、会議の後の「See you tomorrow」(1番)、「Bye for now」(2番)等の別れの挨拶や、「Well, we're off to a good start」(8番)(出だしはなかなか好調ですね)、「The project is really moving along nicely. I'm very excited about it, as is everyone, I think」(9番)(企画は全くうまい具合に進んでいますね。胸がワクワクしますよ。皆さんも同じかと思いますが)等の様な、この企画を好ましいものとして前向きに受けとめる表現が、3番から12番まで11通り見られる。その他、「Anyone, have time to celebrate?」(13番)(誰かお祝いに《一杯飲み》に行く時間のある人はいませんか)、「Let's go for a beer after work」(14番)(仕事の後でビールにでも行きましょう)等の様な、疲れをねぎらうというよりは楽しい社交的雰囲気をもつ表現も使われている。

#### 場面 4

あなたの町内でバーベキュー・パーティーをすることになりました。ある日、町内会長さんから日程変更の知らせがきて、近所の人に連絡して欲しいとの事でした。電話をかけて近所の人にこの事を知らせます。電話を切る時、何と言いますか。			Suppose your local community plans to have a B-B-Q party. You get a message from the community leader that the schedule has changed to another day and that you have to inform your neighbor of this change. You pick up the phone and call your neighbor. After giving him the information, what would you say to him when you hang up?		
日 本 語 (17)	回答数	%	英 語 (18)	回答数	%
1 (じゃ) よろしくお願ひします。	9	52%	1 See you at (place/the B-B-Q)/ on (date).	3	16%
2 (…ということですので、)お願ひします。	2	11%	2 See you <u>then/round</u> .	2	11%
3 では、どうぞよろしく。 <u>おやすみなさい／ごめんください</u> (ませ)。	2	11%	3 So I'll see you on the (date), right? So long now.	1	5%
4 …ということですので、よろしく。	1	5%	4 Good bye.	1	5%
5 (じゃ) 失礼します。	2	11%	5 Bye for now. See you at the party.	1	5%
6 さようなら。	1	5%	6 I hope to see you there! (It should be a fun time).	3	16%
			7 (I) hope you can (still) make it.	3	16%
			8 Look forward to seeing you.	1	5%
			9 I hope this doesn't inconvenience you. Hope to see you there.	1	5%
			10 If you have any questions, (about the date change) give me a call.	1	5%
			11 Thanks.	1	5%

ここはパーティーの日程変更の知らせをした後で電話を切る場面であるが、日本語では別れの言葉である「さようなら」や「失礼します」は全17回答中3例の17%にすぎず、実際には特に何かを依頼している訳でも頼りにしている訳でもないのに「よろしくお願ひし

ます」(1番)、「お願いします」(2番)、「どうぞよろしく」(3番)、「よろしく」(4番)等が残りの83%を占めている。

英語においては新情報を伝える用件が済み、後はストレートに“See you at (place)”(1番)(～《場所》で会いましょう)、“See you on (date)”(1番)(～《時》に会いましょう)や“Good bye”(4番)(さようなら)等の様な別れの言葉が、1番から7番を通して全18回答中11例の61%に用いられている。その他“It should be a fun time”(6番)(きっと楽しいですよ)、“I hope you can still make it”(7番)(日程が変わっても来れるといいですね)、“Look forward to seeing you”(8番)(お会いできるのを楽しみにしています)等という楽しい時への希求表現、快適志向の表現が見られる。

以上、日本語においては初対面時の場面1では「右も左もわからない未熟者」である新入社員が今後の「良き取り計らい」を願い、人に頼み事をする場面2では依頼の表現として、そして又、実際には依頼する必要がなさそうに見える町内の人に伝言を伝える場面4でも「よろしくお願いします」が主に使われている。又、会議の後の場面3では「よろしくお願いします」は1例しかなかったが、「頑張りましょう」の様な新しい企画に向けての“ヤル気”、“頑張り”を示す表現や「お疲れさまでした」「ご苦労さまでした」の様な労苦をねぎらう表現が約半分ずつ使われている。全ての場面において、日本語では「よろしくお願いします」以外の回答は、いわゆる「決まり文句」に相当するものであり、その種類は少ない。

日本語の場合と違い、英語の回答では複数の場面に共通する表現は見られず、それぞれ別個の種類表現になっている。場面1では、英語の初対面時の「決まり文句」に相当する“Nice/Good/Pleased to meet you”が78%を占めるが、ただ単に“Hello”だけの回答や“I’m looking forward to working with you”(御一緒に仕事できるのを楽しみにしています)等の様に相手と比べて未熟な自分としてではなく、対等な立場に立つ者としての発言も見られる。

頼み事をする場面2でも頼りにしていることを表す表現は使われておらず、引き受けてくれた事に対する感謝の言葉が圧倒的多数使われている。恐縮の念を示す“I know this is asking a lot”(大変な頼み事だという事はわかっているのですが)の様な表現も見られるが、その後に“Thank you very much”や“I’d appreciate it”(ありがたく思っています)がほとんどの場合添えられており、仕事をしてくれる相手に対し素直に感謝している。

日本語では仕事仲間に対して労苦をねぎらう表現が多かった場面3において、英語ではその企画を好ましいものとして前向きに受けとめる“I can’t wait until we get started”(早く始まらないかと待ちきれない程です)や“Anyone have time to celebrate?”(誰かお祝いに飲みに行く時間のある人はいませんか)等のリラックスした友好的雰囲気表現も見られる。

場面4において、英語では伝言がすんだ後ではストレートに別れの言葉である“See you at the party”や“Hope to see you there”で電話を切っている。楽しい事や楽しい時を強調する“It should be a fun time”(きっと楽しいですよ)や“I hope you can still make it”(日程が変わっても来れるといいですね)の様な表現も英語に特徴的に見られた。



## II すみません。

## 場面 1

レストランのテーブルに座りウェーターが注文を取りに来るのを待っています。注文するものが決まったのでウェーターを呼びたいのですが、何と言って呼びますか。			Suppose you are at the table in a restaurant and waiting for a waiter to take your order. When you are ready to order and want to draw attention to yourself, what would you say?		
日 本 語 (17)	回答数	%	英 語 (20)	回答数	%
1 (あの) <u>すみません</u> ／ <u>すいません</u> 。	13	76%	1 Excuse me (please). (+身ぶり・手振り)	9	45%
2 すみません。よろしいですか。	1	5%	2 Excuse me. <u>We're/I'm</u> ready to order now.	2	10%
3 ちょっと。	2	11%	3 Excuse me. Could I please order?	1	5%
4 注文したいのですが。	1	5%	4 Excuse me. Can you take our order now?	1	5%
			5 Parden me. I would like to give my order now, thanks.	1	5%
			6 Waiter. May we order now please?	1	5%
			7 Waiter.	2	10%
			8 声を出さず手を上げる／手を振る／スマイルしながら眉を上げる	3	15%

レストランでウェーターを呼ぶ場面であるが、日本語では「すみません」が単独で全17回答中13の76%の人により使われている。実質的意味内容を全く含まない「ちょっと」(3番)が2回答ある他は、具体的用件である「よろしいですか」(2番)、「注文したいのですが」(4番)はそれぞれ1回答にすぎない。

英語でも「すみません」に対応する "Excuse me" (1～4番) や "Parden me" (5番) が使われているが、その後に "We're ready to order now" (2番)、"Could I please order?" (3番)、"I would like to give my order now, thanks" (5番) (注文したいのですが) や "Can you take our order now?" (4番) (注文を受けてくれますか>注文したいのですが) 等と具体的用件を述べている回答 (2～6番) が多い。

## 場面2

道に迷いました。途中で誰かに声をかけて道を聞きたいのですが、何と言って呼びかけますか。			Suppose you have lost your way. When you stop someone on the street to ask for directions, what would you say?		
日 本 語 (16)	回答数	%	英 語 (19)	回答数	%
1 すみません／すいません (が)。	8	50%	1 Excuse me, could you tell me how to get/the way to xx?	6	31%
2 申し訳ありません。	1	6%	2 Excuse me, do you know where xx is?	4	21%
3 (あの)すみません。ちょっとお伺いしたいのですが／伺いますが。	2	12%	3 Excuse me, could you tell me where xx is?	3	15%
4 すみません。～へ行きたいんですが…。	1	6%	4 Excuse me, I'm looking for xx.	1	5%
5 ちょっとお尋ねしたいのですが／お伺いします。	2	12%	5 Excuse me, where is xx?	1	5%
6 ちょっと道を教えていただけませんか。	1	6%	6 Excuse me, I seem to be lost and need help to find my way to xx. Would you please give me directions?	1	5%
7 あの一、ちょっと伺いますが。	1	6%	7 Excuse me, I'm not from around here. Could you help me?	1	5%
			8 Excuse me, I'm lost. Please help me.	1	5%
			9 Excuse me, please.	1	5%

通りで人に道を尋ねる場面2では、未知の人に声をかけるという点で上述の場面1とやや状況が似ている。日英語共に回答に使われる表現も似ているが、日本語では単に「すみません」(1番)や「申し訳ありませんが」(2番)が用件を表す表現を伴わず単独で使われているのが半数以上の57%あるのに対し、英語では19回答のうち18回答である94%が“Excuse me”の後に何らかの具体的事情や用件を付け加えている。例えば“Excuse me, but could you tell me the way to xx?”(1番)(すみませんが、～へ行く道を教えてくださいませんか)、“Excuse me, I seem to be lost and need help to find my way to xx. Would you please give me directions?”(6番)(すみません。道に迷ってしまったようで助けていただきたいのですが。道を教えてくださいませんか)、“Excuse me, I'm not from around here. Could you help me?”(7番)(すみません。この辺りに住んでいないもので、ちょっと助けていただきたいのですが)等の様に様々で、どれもがさながら“道の聞き方”の表現の可能な限りのサンプルの観を呈している。

場面 3

混んでいるバスの後ろの席に座っています。次の停留所で降りるので通路に立っている人の間を縫って前の出口まで行かなければなりません。人のかき分けて進む時、何と言って通してもらいますか。			Suppose you are sitting in a rear seat in a crowded bus and you want to get off at the next stop. As you maneuver your way toward the front door, what would you say to the people who are in your way?		
日 本 語 (18)	回答数	%	英 語 (22回答中)	回答数	%
1 (ちょっと)すみません／すいません。	7	38%	1 Excuse me, (please).	8	36%
2 すみません。すみません。すみません。	1	5%	2 Excuse me, excuse me.	2	9%
3 ごめんなさい。	1	5%	3 Excuse me, could I get through?	2	9%
4 すみません。(降りますので)(ちょっと)通して下さい／いただけますか。	4	22%	4 Excuse me, I need to get off.	1	4%
5 すいません。降ろして下さい。	2	11%	5 Excuse me, I have to get off next. Excuse me, excuse me.	1	4%
6 すみません。(次で)降ります(ので)。	2	11%	6 Coming through, excuse me.	1	4%
7 ちょっと。	1	5%	7 My stop! Excuse me.	1	4%
			8 Excuse me, get out of my way.	1	4%
			9 Excuse me, excuse me, sorry...	1	4%
			10 Excuse me, please. Thank you.	1	4%
			11 Sorry, excuse me.	1	4%
			12 Sorry....	1	4%
			13 Passing through.	1	4%

混んでいるバスの後列から前へ進むこの場面3で、日本語では「すみません」と「ごめんなさい」が全18回答中17を占めているが、ここでも上述の場面1、2同様、具体的説明が添えられた回答より7番の「ちょっと」も含めると、これらの「決まり文句」が単独で用いられているのが半数以上(55%)に上る。

英語においても場面1、2同様、“Excuse me”が1番から11番まで全22回答中20あり、90%を占めているが、“Excuse me, could I get through?”(3番)(すみません。通してくださいませんか)、“Excuse me, I have to get off next. Excuse me; excuse me”(5番)(すみません。次で降りるんです。すみません、すみません)、“Passing through”(13番)(通ります)等の様な説明的表現(3～6番、13番)も、全22回答中8回答で36%ある。しかし全体的に見ると“Excuse me, please. Thank you”(10番)や“Sorry, excuse me”(12番)等の短い語句が単独で使われている回答の方が64%と多い。

## 場面 4

電車の時間が迫っているので急いでいます。向こうから来る人とぶつかってしまい、その人の鞆を落としてしまいます。それを拾って手渡す時、何と言いますか。			Suppose you are in a hurry to catch a train and you bump into someone coming the other way. Through this unexpected encounter, he drops his bag on the street. What would you say to him when you pick it up and hand it to him?		
日 本 語 (18)	回答数	%	英 語 (22)	回答数	%
1 ごめんなさい。	7	38%	1 (I'm <u>very/terribly/so</u> ) sorry.	7	31%
2 ごめんなさい。大丈夫ですか。	1	5%	2 Excuse me. I'm (so) sorry.	2	9%
3 ごめんなさい。すみませんでした。	2	11%	3 Sorry about that.	2	9%
4 (どうも) すみません (でした)。	6	33%	4 Sorry (about that). Here you go.	2	9%
5 すみません。怪我はなかったですか。	1	5%	5 Oh, sorry. I'm (really) in a hurry.	2	9%
6 申し訳ありません。	1	5%	6 I'm terribly sorry. I've got a train to catch.	1	4%
			7 Sorry about that. Is everything okay? I hope nothing is broken.	1	4%
			8 I'm sorry. I didn't see you.	1	4%
			9 I'm very sorry. It was my fault. Here is your bag.	1	4%
			10 So sorry. I wasn't watching where I was going.	1	4%
			11 I'm sorry, are you in my way?	1	4%

道で人とぶつかりその人の鞆を落としてしまう場面4において、日本語では「ごめんなさい」(1～3番)が55%と半数以上を占めており、上述の場面1、2、3において支配的だった「すみません」(3～5番、50%)がそれに次いでいる。これらの「決まり文句」以外の表現としては「大丈夫ですか」(2番)と「怪我はなかったですか」(5番)がそれぞれ1度ずつ見られるにすぎない。従って6番の「申し訳ありません」を加えると、日本語では「ごめんなさい」「すみません」「申し訳ありません」のいずれかが単独で使われていることになる。

英語では場面1、2、3において「すみません」に対応していた“Excuse me”が“(I'm) sorry”に100%入れ替わっているのに気づく。2番に“Excuse me”が使われているが、その後に“I'm sorry”が付加されているのを見ても、英語においては“Excuse me”と“I'm sorry”はその使用範囲がはっきり分かれていることが伺える。

日本語では「大丈夫ですか」(2番)や「怪我はなかったですか」(5番)の様な相手の安否を尋ねる表現は、全18回答中2回答(11%)にすぎなかったのに対し、英語では“I'm terribly sorry. I've got a train to catch”(6番)(どうもすみません。汽車に乗らなくてはならないものですから)、“Sorry about that. Is everything okay? I hope nothing is broken”(7番)(ごめんなさい。大丈夫ですか。何も壊れていないといいのですが)、“So sorry. I wasn't watching where I was going”(10番)(すみません。前を向いて歩いていなかったものですから)等の様に2番から11番まで全22回答中12回答の55%がそれぞれ異なった言い方で相手の安否やぶつかった理由等を具体的に述べている。

## 場面 5

高層ビルに入りエレベーターを探しています。やっと見つかったのですが、扉が閉まりかけています。それに乗ろうと思って走りながらエレベータに乗っている人に何と言いますか。			Suppose you are in a high-rise building and you look for an elevator to go up. When you find it, the door is just about to close. As you run to the door, what would you say to the people inside the elevator to ask them to hold it open?		
日 本 語 (14)	回答数	%	英 語 (25)	回答数	%
1 すみません／すいません。	5	35%	1 <u>Can/Could</u> you hold <u>it/the door</u> , please!	5	20%
2 すみません。乗せて下さい。	3	20%	2 Hold the door, (please).	3	12%
3 すみません。(ちょっと)待って下さい。	2	13%	3 Going <u>up/down</u> ? (Could you) hold the door, (please)!	2	8%
4 すみません。乗せていただけませんか。	1	6%	4 Hold it.	2	8%
5 すみません。乗ります。	1	6%	5 Hold the door! Hold the door! Please!	1	4%
6 乗ります。	1	6%	6 Hodedo!	1	4%
7 止めて。	1	6%	7 Hold the elev. please.	1	4%
			8 Hold on! Hold on! Phew! Thanks a lot (if successful).	1	4%
			9 Hold on! Hold on! Damn! You buggers! (if unsuccessful)	1	4%
			10 Please can you wait for me?	1	4%
			11 I'm coming, wait!	1	4%
			12 Just a moment, please.	1	4%
			13 Wait.	3	12%
			14 顔の表情で。しぐさで。	2	8%

扉が閉まりかけているエレベーターに乗ろうとして声をかける場面5において、日本語ではやはり「すみません」が6番と7番を除く全ての回答に現れている。「ちょっと待って下さい」(3番)、「乗ります」(5番)等の用件を伝える表現も使われているが、その前に先ずは「すみません」が添えられているもの(1～5番)が85%を占めている。

英語の回答を見ると、今までの場面1～4と少し事情が違っている。つまり、「すみません」に相当する“Excuse me”も“Sorry”も全然使われておらず単刀直入に用件に入っている。例えば“Could you hold the door, please!”(1番)(ドアをそのまま開けて置いて下さい>待って下さい)、“Going up? Hold the door”(3番)(上に行きますか。待って下さい)の様な“Hold the door”型の回答が最も多く(68%)、“I’m coming, wait!”(11番)(今、行きます。待って)や“Just a moment, please”(12番)(ちょっと待って)等の“Wait”型がそれに続く(10～13番、24%)。

## 場面6

先生の研究室で先生と話をしています。先生はあなたにお茶を入れて下さいます。あなたの前にお茶が置かれ「どうぞ」と勧められた時、何と言いますか。			Suppose you are talking with your teacher in his office and he kindly makes tea for you. When he places a cup of tea in front of you, what would you say?		
日 本 語 (18)	回答数	%	英 語 (19)	回答数	%
1 (あっ)(どうも) <u>すみません</u> / <u>すみません</u> 。	4	22%	1 (Oh,) Thank you.	6	31%
2 お手数をおかけして、すみません。	1	5%	2 (Oh,) Thank you very much.	5	26%
3 すいません。ありがとうございます。	1	5%	3 (Oh,) Thanks a lot.	2	10%
4 すみません。いただきます。	1	5%	4 Thanks.	1	5%
5 恐れ入ります。	1	5%	5 Ta.	1	5%
6 お気遣いされませんよう。	1	5%	6 Oh, thank you. I didn't mean for you to go to so much extra trouble.	1	5%
7 お手数おかけして、申し訳ありません。	1	5%	7 Thank you. You didn't need to do that.	1	5%
8 ありがとうございます。お気を遣わせてすみません。	1	5%	8 Thank you very much. It's very kind of you.	1	5%
9 ありがとうございます。いただきます。	2	11%	9 Thanks, that's great.	1	5%
10 ありがとうございます。	4	22%			
11 どうもありがとう。	1	5%			

場面6は目上の人である先生からお茶をいれていただいた時のお礼の挨拶をする場面であるが、日本語では「ありがとうございます／どうもありがとう」(7～10番)が最も多く8回答使われており、「すみません」(1～4番)の7回答がそれに次いでいる。しかし「すみません」と同じ様に、やはり恐縮の念を示す「恐れ入ります」(5番)、「お気遣いされませんように」(6番)、「お手数かけて、申し訳ありません」(7番)も含めると、日本語では、目上の人への感謝を表すのに恐縮や詫びの表現の方が単なる感謝の言葉より多く使われている(55%)ことになる。

英語においては、全ての回答に“Thank you”、“Thank you very much”、“Thanks”等が使われており、好意に対し素直に感謝を示している。6番の“I didn't mean for you to go to so much extra trouble”(わざわざそのようなご面倒をおかけしよう等とは思っていませんでしたのに)や“You didn't need to do that”(7番)(こんな事して下さらなくてもよかったんですのに)等の様な、恐縮の念が伺える表現もあるが、全19回答中15の83%は単なる感謝の表現である。

以上、日本語では場面1から6、すなわちレストランでウェイターを呼ぶ時(場面1)、通りで人に道を聞く時(場面2)、バスの中で乗客に道を開けてもらう時(場面3)、人にぶつかり相手に実際に迷惑が及んだ時(場面4)、閉まりかけているエレベータに乗ろうと声をかける時(場面5)、そして先生からの親切に対して感謝の気持ちを述べる時(場面6)において「すみません」が主に使われている。人にぶつかり謝る場面4では「すみません」より、「ごめんなさい」が若干多く用いられていたり、目上の人である先生にお茶を勧められる場面6では「ありがとうございます」も約半数使われていたが、全ての場面において

日本語では「すみません」が単独で使われている例が多く、何に対して「すまなく」思っているのかはあまり具体的に言語化されていないのが特徴である。

日本語では同一の「すみません」が使われていたこれらの6つの場面において、英語ではおおよそ4通りの表現が用いられている。「すみません」に対応する英語の“Excuse me”と“I’m sorry”のそれぞれが使われる場合、そのいずれも使われず直接用件を述べる場合、そして感謝の表現である“Thank you”が使われる場合である。

場面1から3、すなわちレストランでウェーターを呼んだり（場面1）、通りで道を聞いたり（場面2）、バスの中で道を開けてもらう時（場面3）等、いわゆる未知の人に声をかける場面では“Excuse me”が用いられており、人とぶつかり鞆を落としてしまい相手に迷惑が及んだ場面4では“I’m sorry”が使われていた。しかし、いずれの場合にも“Excuse me”及び“I’m sorry”の前後に、理由や事情を説明する言葉が付加されており、それもほとんど皆回答者によって別個な表現であり、バラエティーに富んでいる。

閉まりかけているエレベーターに乗ろうとする場面5では“Excuse me”も“I’m sorry”も使われていず、単刀直入に“Hold the door”、“Wait”と具体的用件に入っており、又、目上の人からの親切に対してお礼の気持ちを表す場面6においては、ストレートに“Thank you”という感謝の言葉が使われている。

#### 注

1) 本稿は「大学英語教育学会全国大会ワークショップ」（1994年9月9日愛知淑徳短期大学）に於いて「慣用的表現と個別的表現」と題して発表したものを基に書き直したものである。

本論執筆にあたり、アンケートに答えて下さった方々、及びご教示を与えて下さった方々に心から謝意を表します。

2) 「挨拶」という言葉はもともと禅宗の「一挨拶」を語源にもち、「師僧が門下の僧と問答をしてその悟道・知見の深淺を試みる」（『広辞苑』第三版、岩波書店）ことを指していた。

3) 人間の伝達行動が成立するための言語六要素とは、話し手、聞き手、内容事物、発語、言語体系、接触を指す。（小林、鈴木）

4) 日本語の「挨拶」という言葉が出会いと別れの両方の言葉を含むのに対し、「挨拶」に対応する英語の“greeting”は“greet”の「迎える」「歓迎する」から派生したもので「歓迎」を意味し、出会いの挨拶に限定される。本稿ではいわゆる「決まり文句」又は「慣用句」として日常交わされる日本語での広義の「挨拶」を取り上げる。

参考文献

- 日嘉正範. 「あいさつの言語学」『言語』Vol.10、No.4、大修館書店、1981。  
———. 「あいさつとあいさつ言葉」『言語』Vol.10、No.4、大修館書店、1981。  
小林祐子. 「日本人とアメリカ人の挨拶行動—出会いの挨拶」『東京女子大学附属比較文化研究所紀要』  
1981、42号。  
———. 「英語の挨拶行動」『英語教育』30—10、1081、12月号、大修館書店、1981 Labov, William.  
Sociolinguistic Patterns, University of Pennsylvania Press, 1972.  
野元菊雄. 「あいさつ言葉の原理」『日本語学』Vol.4、8月号、明治書院、1985。  
鈴木孝夫. 『ことばと社会』中央公論社、1975。  
『広辞苑』第三版、新村出 編、岩波書店。  
『国語学研究事典』佐藤 喜代治 編、明治書院。  
『大辞林』村松 明 編、三省堂。

——英文学科——